

# 事業評価シート

番号 1340050 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	一般ごみ収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進			政策コード	6 - 3 - 0 - 0
実施方法	その他	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	昭和20 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(家庭系普通ごみ・カン・ビン・ペットボトル・学校生ごみ等)の適正処理、快適な都市環境づくり。				
事業の内容	一般廃棄物の収集・運搬(粗大ごみ収集を除く。)				
事業の 対象	何を	一般ごみの収集・運搬			
	誰に (対象者・対 象者数)	岐阜市民及び学校			
	どのくらい (具体的 数値で)	普通ごみ:週2回、カン・ビン・ペットボトル:週1回、学校生ごみ:随時、家庭用廃食用油・発砲スチロール・ペットボトルキャップ:月1回			
令和1年度 (実施内容)	一般廃棄物の収集・運搬(普通ごみ(週2回)/カン・ビン・ペットボトル(週1回)/学校生ごみ(随時))家庭系廃食用油・発砲スチロール・ペットボトルキャップ(月1回)の回収				

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	703,456	23,140	703,456	23,140	786,760	23,140
嘱託職員	110,160	10,800	110,160	10,800	110,160	10,800
アルバイト	616	140	616	140	616	140
<b>計(A)</b>	<b>814,232</b>	<b>34,080</b>	<b>814,232</b>	<b>34,080</b>	<b>897,536</b>	<b>34,080</b>

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	一般家庭ごみ収集委託	595,589	524,518	531,364
	ビン・ペットボトル分別収集	105,300	110,484	111,507
	車両燃料費	26,208	30,806	29,396
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>890,880</b>	<b>863,404</b>	<b>863,149</b>

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,705,112	1,677,636	1,760,685

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	5,762	5,706	5,187
その他			
<b>計(F)</b>	<b>5,762</b>	<b>5,706</b>	<b>5,187</b>

**【5.収支】**

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,699,350	1,671,930	1,755,498

**【6.コストバランス】**

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,142	4,088	4,292

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	一般廃棄物受入量		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	—	—	—
実績値	125,645	124,661	123,420

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	—		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	—	—	—
実績値	—	—	—

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。  法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	収集運搬業務の委託化を進めていく。  民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。 ごみステーションの管理を自治会と協働で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	ごみ減量に一生懸命取り組んでいる市民とそうでない市民とで、公平な負担になっていない状況にあると思われることから、公平な受益者負担とするための方策について、検討する必要がある。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート

番号 1340050 - 002

## 【1.基本情報】

事業名	粗大ごみ収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池等)の適正処理、快適な都市環境づくり。				
事業の内容	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池等)の収集、指導、電話予約受付(粗大ごみ受付センター)				
事業の対象	何を	粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池収集			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	随時			
令和1年度 (実施内容)	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・廃乾電池等)の収集、指導、電話予約受付(粗大ごみ受付センター)				

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	142,272	4,680	142,272	4,680	159,120	4,680
嘱託職員	6,120	600	6,120	600	6,120	600
アルバイト	31,680	7,200	31,680	7,200	31,680	7,200
計(A)	180,072	12,480	180,072	12,480	196,920	12,480

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		267,557	280,479	281,204
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	粗大ごみ収集委託	242,793	254,934	257,295
	廃蛍光管・廃乾電池収集	24,764	25,545	23,909
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		267,557	280,479	281,204

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	447,629	460,551	478,124

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	185,164	207,199	222,249
その他			
計(F)	185,164	207,199	222,249

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	262,465	253,352	255,875

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	640	619	626

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	粗大ごみ受入日数(土日)	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	24	24	24
実績値	24	24	24

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	粗大ごみ受入件数(土日)	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	8,244	8,244	8,244
実績値	8,389	9,672	11,944

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。  法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果 ②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	収集運搬業務の委託化を進めていく。  既に民間事業者へ収集運搬業務の一部を委託している。また、収集運搬業の許可を民間事業者に出している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート

番号 1340050 - 003

## 【1.基本情報】

事業名	都市美化清掃ごみ収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和20 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(都市美化活動ごみ)の適正処理、快適な都市環境づくり。				
事業の内容	自治会や河川の管理者等、清掃活動を行う当事者からの連絡により、一般廃棄物(町内清掃や河川敷等の都市美化活動ごみ)の収集を行う				
事業の 対象	何を	町内清掃等で出たごみの収集			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	随時			
令和1年度 (実施内容)	自治会や河川の管理者等、清掃活動を行う当事者からの連絡により、一般廃棄物(町内清掃や河川敷等の都市美化活動ごみ)を収集				

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	23,712	780	23,712	780	26,520	780
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>23,712</b>	<b>780</b>	<b>23,712</b>	<b>780</b>	<b>26,520</b>	<b>780</b>

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		8,145	8,355	8,865
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	自動車借上	8,145	8,355	8,865
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>8,145</b>	<b>8,355</b>	<b>8,865</b>

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	31,857	32,067	35,385

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	31,857	32,067	35,385

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	78	78	87

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	都市美化清掃開催日数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	800	800	800
実績値	883	864	825

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	-		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	-	-
実績値	-	-	-

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市民の衛生的な生活環境を維持及び快適な都市環境づくりに必要不可欠である。  法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	直営収集と業者借上げ等を適切に組み合わせることで市民が集めた廃棄物を効率的に収集することができる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民の衛生的な生活環境を維持及び快適な都市環境づくりに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者及び受益者負担は適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート

番号 1340050 - 004

## 【1.基本情報】

事業名	リサイクルセンター管理				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	2 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成9年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	リサイクルの推進				
事業の内容	岐阜市リサイクルセンター内で資源物(ビン・ペットボトル、カン)の選別・出荷・売却等				
事業の対象	何を	収集した資源物(ビン・ペットボトル、カン)			
	誰に (対象者・対象者数)	適正に分別			
	どのくらい (具体的 数値で)	収集した量			
平成30年度 (実施内容)	岐阜市リサイクルセンター内で資源物(ビン・ペットボトル、カン)の選別・出荷・売却等				

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	24,726	780	24,726	780	26,520	780
嘱託職員	10,300	1,000	10,300	1,000	10,300	1,000
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>35,026</b>	<b>1,780</b>	<b>35,026</b>	<b>1,780</b>	<b>36,820</b>	<b>1,780</b>

(2)物にかかるコスト

	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	
<b>直接経費 【直接事業費】 (B)</b>	145,919	150,413	138,399	
<b>直接事業費の主な内訳</b>	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	
項目	選別作業委託	77,436	84,888	86,982
	ガラス残渣再生委託	29,024	30,774	24,848
<b>減価償却費 【施設管理】※ (C)</b>	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	
<b>計(D)=B+C</b>	<b>145,919</b>	<b>150,413</b>	<b>138,399</b>	

(3)総コスト

	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
<b>総事業費(E) =A+D</b>	<b>180,945</b>	<b>185,439</b>	<b>175,219</b>

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	61,898	61,889	61,889
<b>計(F)</b>	<b>61,898</b>	<b>61,889</b>	<b>61,889</b>

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	119,047	123,550	113,330

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	290	302	277

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	資源物受入量		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	—	—	—
実績値	6,173	6,180	6,173

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	—		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	—	—	—
実績値	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。  法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果 ②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	施設の効率的な運営に資するために公設民営で民間活力を生かす等の手法を検討することは重要である。  —
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	公平な負担を確保するため、より資源化の推進を図っていく必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。



# 事業評価シート

番号 1340050 - 005

## 【1.基本情報】

事業名	不法投棄防止対策				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業部		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	廃棄物の適正処理の徹底を図り、不法投棄を未然に防止するとともに、不法投棄に対しては厳正な態度で対応し、快適な都市環境づくりに寄与する。				
事業の内容	不法投棄防止対策の強化(不法投棄防止週間・年末・年度末の夜間パトロール、不法投棄張り付け監視、不法投棄監視モニターの委嘱等)				
事業の対象	何を	不法投棄防止対策			
	誰に (対象者・対象者数)	不法投棄者			
	どのくらい (具体的 数値で)	随時			
令和1年度 (実施内容)	不法投棄防止対策の強化(不法投棄防止週間・年末・年度末の夜間パトロール、不法投棄張り付け監視、不法投棄監視モニターの委嘱等)				

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和1年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	110,656	3,640	110,656	3,640	123,760	3,640
嘱託職員	12,240	1,200	12,240	1,200	12,240	1,200
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>122,896</b>	<b>4,840</b>	<b>122,896</b>	<b>4,840</b>	<b>136,000</b>	<b>4,840</b>

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
		3,230	3,230	3,230
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
項目	夜間パトロール委託	1,296	1,270	1,287
	処理困難物回収等処理業務	295	0	505
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和1年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>3,230</b>	<b>3,230</b>	<b>3,230</b>

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
	126,126	126,126	139,230

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
	126,126	126,126	139,230

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	307	308	340

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	不法投棄監視モニター委嘱		単位
	平成29年度	平成30年度	令和1年度
目標値	672,000	672,000	660,000
実績値	672,000	660,000	660,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	不法投棄件数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和1年度
目標値	—	—	—
実績値	497	574	632

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	快適な都市環境づくりのためには、必要不可欠である。
		廃棄物の適正排出を促す方策として、ルールの啓発と違反者の取り締まりは一体として必要であり、行政が主体的に実施すべきものである。
効率性 (①費用対効果 ②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	夜間パトロール等で民間事業者を活用している。
		—
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	不法投棄件数は、年々増加する傾向にあるが、早期に発見することで不法投棄拡大の防止に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	警察等との連携を図りつつ、投棄行為者に対し、厳正な態度でのぞむ必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート

番号 1340050 - 006

## 【1.基本情報】

事業名	し尿収集				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和27年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	一般廃棄物(し尿)の適正処理及び清潔で美しいまちづくり	
事業の内容	一般家庭又は施設の汲取り式便所(仮設トイレ含む)からの一般廃棄物(し尿)の収集	
事業の対象	何を	一般廃棄物(し尿)
	誰に (対象者・対象者数)	し尿収集の申し込みをした世帯
	どのくらい (具体的 数値で)	収集間隔23日(一世帯あたり年間15.9回の収集)
平成30年度 (実施内容)	一般家庭又は施設の汲取り式便所(仮設トイレ含む)からの一般廃棄物(し尿)の収集	

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和01年度決算額(千円)	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	63,232	2,080	63,232	2,080	61,880	1,820
嘱託職員	14,280	1,400	14,280	1,400	16,320	1,600
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>77,512</b>	<b>3,480</b>	<b>77,512</b>	<b>3,480</b>	<b>78,200</b>	<b>3,420</b>

(2)物にかかるコスト

項目	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和01年度決算額(千円)
	<b>直接経費 【直接事業費】 (B)</b>	55,530	59,632
<b>直接事業費の主な内訳</b>	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和01年度決算額(千円)
収集委託	47,191	44,122	43,263
<b>減価償却費 【施設管理】※ (C)</b>	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和01年度決算額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>	<b>55,530</b>	<b>59,632</b>	<b>50,489</b>

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和01年度決算額(千円)
	133,042	137,144	128,689

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和01年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	42,222	39,242	37,632
その他			
<b>計(F)</b>	<b>42,222</b>	<b>39,242</b>	<b>37,632</b>

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和01年度決算額(千円)
	90,820	97,902	91,057

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和01年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,297	408,970	409,045
受益者負担額(千円)	42,222	39,242	37,632
受益者負担率(%)	31.7%	28.6%	29.2%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	221	239	223

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	汲み取り戸数		戸数(述べ)
	平成29年度	平成30年度	令和01年度
目標値	—	—	—
実績値	44,492	41,178	38,737

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	汲み取り量		KL
	平成29年度	平成30年度	令和01年度
目標値	—	—	—
実績値	5,066	4,630	4,368

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。  法により、市内の一般廃棄物(生活排水)の適正処理に必要な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。
効率性 (①費用対効果 ②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	既に民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。  -
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	衛生的な生活環境を維持するため、合併浄化槽への切り替えを推進していく必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート

番号 1340050 - 007

## 【1.基本情報】

事業名	プラスチック製容器包装分別収集啓発事業				
担当部名	環境部	担当課名	環境事業課		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成29年度～	年度	根拠法令 関連計画※	ごみ減量・資源化指針	

## 【2.事業概要】

事業の目的	プラスチック製容器包装の分別収集について、市民を対象にした説明会等を開催し、令和4年度に実施予定の同事業の円滑な導入を図る。	
事業の内容	チラシを作成するとともに、自治会や各種団体に対して出前講座を実施し、プラスチック製容器包装の分別収集の目的やその仕組みについて、市民の理解を深める。	
事業の対象	何を	プラスチック製容器包装の分別収集
	誰に (対象者・対象者数)	一般市民
	どのくらい (具体的 数値で)	毎月複数回の定例講座や、出前講座等
令和1年度 (実施内容)	講座24回(630人)、ごみ1/3減量大作戦通信Vol.4,5の発行。	

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和1年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,614	86	2,614	86	2,924	86
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>2,614</b>	<b>86</b>	<b>2,614</b>	<b>86</b>	<b>2,924</b>	<b>86</b>

(2)物にかかるコスト

	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	年度令和1決算額(千円)
<b>直接経費 【直接事業費】 (B)</b>	70	132	116
<b>直接事業費の主な内訳</b>	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
項目	印刷物刊行費	70	132
<b>減価償却費 【施設管理】※ (C)</b>	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和1年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>	70	132	116

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
	2,684	2,746	3,040

## 【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和1年度決算額(千円)
	2,684	2,746	3,040

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	1,462	4,227	630
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	1,836	650	4,825

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座実施回数	単位	回
	平成29年度	平成30年度	令和1年度
目標値	70	80	19
実績値	42	125	24

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講座参加者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和1年度
目標値	2,100	2,400	570
実績値	1,462	4,227	630

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	令和4年度に実施予定の同事業の円滑な導入を図るため、必要な啓発活動である。  一般廃棄物の処理は基礎自治体が行う業務であり、ごみ減量・資源化も市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	ごみ減量・リサイクル講座やイベントを活用し、情報発信している。  広域、民間活用は困難であり、プラスチック製容器包装の分別収集の方法について検討をしている現時点では市民協働による取り組みも難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	事業内容が市民に広く浸透してきており、講座を使った啓発は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	自治会や各種団体を対象に出前講座を開催するとともに、チラシを使用し、広く市民に周知している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	分別収集開始まで、市民の理解を深めるため継続していく。